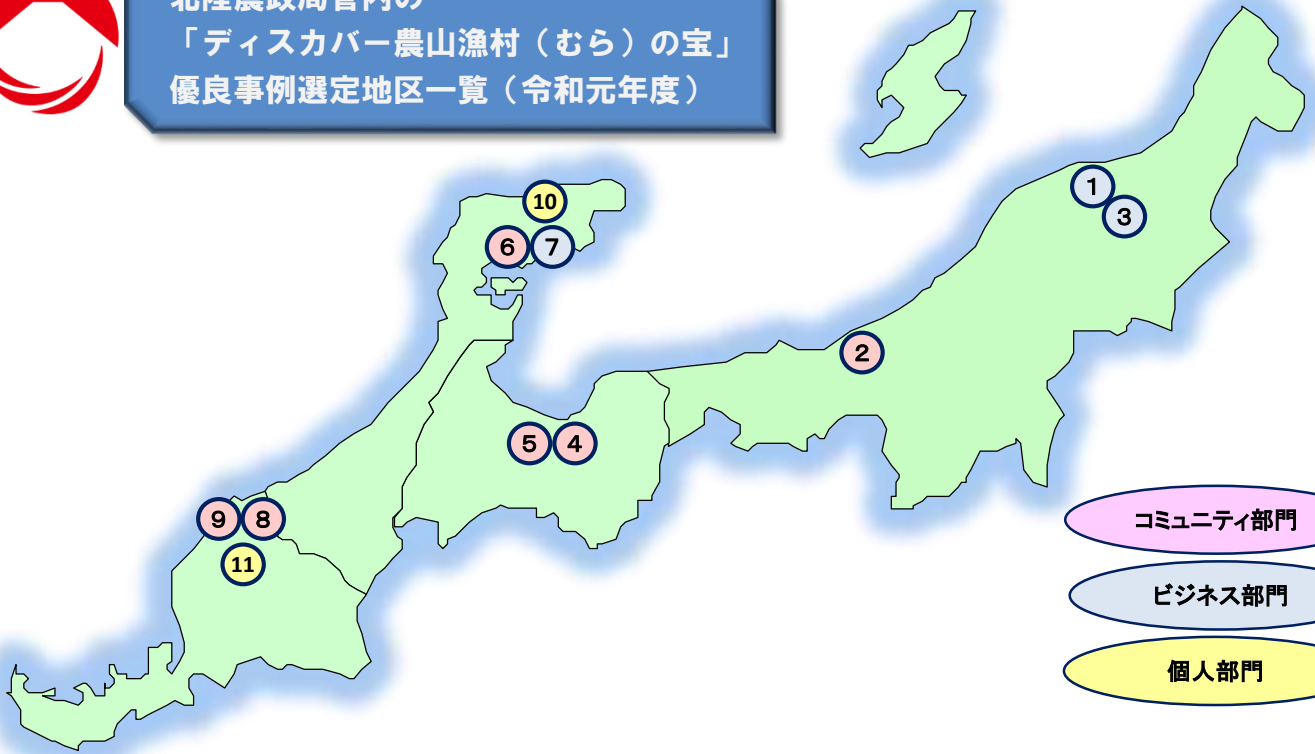




北陸農政局管内の  
「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」  
優良事例選定地区一覧（令和元年度）



1 新潟県 新潟市

エンカレッジファーム株式会社  
最先端技術を使って若者が作るミニトマト

5 富山県 富山市

特定非営利活動法人  
グリーンツーリズムとやま  
グリーンツーリズム後進県ですが、何か？

9 福井県 坂井市

福井エコヴィレッジ研究会  
農村集落の未利用地にエコヴィレッジ誕生！

2 新潟県 上越市

吉川土地改良区  
大学との連携による地域の活性化

6 石川県 穴水町

チーム能登喰いしん坊  
地場食材を使った「田舎のクラブ活動」

10 石川県 能登町

多田 喜一郎  
過疎地域に年間1万人以上呼ぶおやじ

3 新潟県 阿賀野市

あがの衆  
食で「阿賀野」の魅力発信

7 石川県 穴水町

能登ワイン株式会社  
ワイン造りで広がる！遊休地再生と地域活性化

11 福井県 坂井市

山田 誠一  
新風を吹き込み 活気ある農村づくり

4 富山県 富山市

呉羽射水山ろく用水土地改良区  
豊かな水と大地を育むコミュニティ家族

8 福井県 坂井市

竹田の里づくり協議会  
未来へつなぐしだれ桜の里

# ①エンカレッジファーマーミング株式会社

## ～最先端技術を使って若者が作るミニトマト～

6次産業化

教育機関と  
の連携

農林漁業・  
農村文化体験

所在地：新潟県新潟市西蒲区松野尾468

連絡先：0256-72-5778

URL：----



アグリフードEXPO東京2019に出展



トマトハウスに入るバスツアー参加者



6次産業化した商品

## 概要

- オランダ式最先端園芸施設で20代の若者が中心となってミニトマトを栽培。乾燥ミニトマトと地元のコシヒカリを組み合わせ、「炊き込みご飯」を開発し、都内百貨店等で販売。
- 「新潟食料大学」での講演や同大学学生の視察を受入。

## 成果

- 青果・6次化商品の売上は、0.5億円から約3.5億円に増加（H26～H30）。
- 6次産業化の推進等により、地元の雇用が10人から60人に増加（H26～H30）。
- 新潟市内旅行会社が企画した「レストランバスツアー」を実施し、90名が参加（R01）。

よしかわ  
②吉川土地改良区

～大学との連携による地域の活性化～

教育機関との連携

若者・学生の活躍

農林漁業・農村文化体験

所在地：新潟県上越市吉川区原之町2010-8  
連絡先：025-548-2808  
URL：---



研究に訪れた大学生



大学生との交流(ちまきづくり体験)



大学生による現地測量実習

概要

- 法政大学の現地学習プログラムとして、農業水利施設の見学を受け入れるなど、若者との積極的な交流を実施。
- 新潟大学の測量実習を兼ねた基盤整備の計画づくりや、区域内農地を神戸大学の研究フィールドとして提供するなど、地元関係者も参加・交流。

成果

- 学生との交流が盛んになり、吉川区内の祭りや運動会等数々の行事に参加するなど、地域が活性化。
- 大学卒業後も大勢のOBが吉川区を訪問するなど、関係人口の拡大にも貢献。

③あがの衆<sup>しゅう</sup>

～食で「阿賀野」の魅力発信～

企業との連携

6次産業化

環境保全・  
景観保全

所在地：新潟県阿賀野市山倉76-1  
連絡先：0250-63-8086  
URL：<http://aganohimeushi.com/>



新潟県



あがの風土キャラバンでの消費者と生産者の交流



「はたけの座」の生産農家



隔月開催の生産者見学ツアー

概要

- 異業種の若手経営者4名が連携し「あがの衆」を設立し、ブランド牛の開発に着手。
- 廃棄ビール粕を発酵技術で牛の飼料に加工し、当該飼料を牛に与えることで餌代を削減。こうして生産した「あがの姫牛」のPRのため、生産者見学ツアーなどを企画・広報。
- 10軒の若手農家と連携し、野菜ブランド「はたけの座」を立ち上げ。

成果

- 「あがの姫牛」の売上は、0.5億円から約1.5億円に増加（H28～H30）。
- 市内の農家や食に関わる20名で発足した「あがの風土キャラバン」と連携し、「あがの姫牛」を使用したBBQイベント、消費者とのふれあいが定着。

くれはいみずさん  
④ 呉羽射水山ろく用水土地改良区

～豊かな水と大地を育むコミュニティ家族～

教育機関と  
の連携

食育・教育

その他  
(防災・安全性向上)

所在地：富山県富山市西押川1571-2

連絡先：076-434-3366

URL：http://www.tym-midori.net/imizusanroku/



小学生・保育園児向け施設見学会と生き物調査



パイプラインの給水栓を利用した防火訓練



開ヶ丘地区の市民農園と地域内農業者

概要

- 小学生、保育園児向けの土地改良施設見学会や生きもの調査を継続的に開催。
- 集落内ため池の防災点検や、パイプラインを利用した防火訓練の実施。
- 県営事業で整備した畑地の一部を市民農園として整備し、NPO法人を通して市民に貸し付け。

成果

- 県営事業に合わせて規模拡大したハーブ園「ハーブファーム富夢創野とむそうや」の年間利用者は、4,500人から5,300人に増加（H26～H30）。
- 市民を巻き込んだ啓発活動により、土地改良区の認知度が高まり、維持管理作業に地域内の若年層が参画するなどコミュニティ活動が活発化。

## ⑤特定非営利活動法人 グリーンツーリズムとやま ～グリーンツーリズム後進県ですが、何か?～

農林漁業・農  
村文化体験

移住・定住

その他  
(国際貢献)

所在地：富山県富山市安住町3-14富山県建設会館4F

連絡先：076-482-3161

URL：http://gt-toyama.net/



とやま農山漁村インターンシップ参加者



とやま帰農塾でのむらづくり談義



JICA研修生による昔の農機具視察

### 概要

- 田舎暮らしを体験する「とやま帰農塾」、農山村のボランティア活動を支援する「とやま農業・農村サポーター」活動の実施。
- 農村に滞在し農林業や地域づくりに従事し、農村社会を学ぶ「とやま農山漁村インターンシップ」活動、JICA研修生の受入等を実施。

### 成果

- とやま帰農塾の参加者数は延べ約1,400名。県外参加者は340名、内42名が県内に移住（H17～H30）。
- とやま農山漁村インターンシップには延べ146名の学生等が参加し、地域の活力再生に向けた提言が一部実現（H27～H30）。
- JICA研修生の受入により、発展途上国のリーダーとなる人材育成に貢献（H24～）。

## ⑥ チーム能登喰いしん坊

～地場食材を使った「田舎のクラブ活動」～

6次産業化

企業との連携

食育・教育

所在地：石川県鳳珠郡穴水町川島キ112-1

連絡先：0768-52-0161

URL：<http://blog.livedoor.jp/morimotosekiyu/>



石川県



チーム能登喰いしん坊のメンバー



ワイン用葡萄の葉からお茶を開発・商品化



能登牡蠣チャウダー提供風景

### 概要

- 能登の豊かな食材を多くの人に伝えたいとの思いから、石川県内外の食のイベントに屋台を多数出店。
- 能登の食材を使って、「能登の牡蠣カレー」、「能登牡蠣チャウダー」等のレトルト食品を開発・商品化。
- 能登ワイン用葡萄の葉を使用した「お茶」の開発に成功。

### 成果

- 当初2名で始めた屋台活動も9年目でメンバー40名、累計参加メンバーは270名に増加し、屋台での交流人口も2万人から5.5万人に増加（H26～H30）。外国人や首都圏の有名企業も例年参加。
- 能登ワイン用葡萄の葉を使用した「お茶」は、石川県ブランド商品認定、石川エコデザイン金賞を受賞。

石川県 あなみずまち 穴水町

# ⑦ のと 能登ワイン株式会社

## ～ワイン造りで広がる！遊休地再生と地域活性化～

6次産業化

企業との連携

環境保全・  
景観保全

所在地：石川県鳳珠郡穴水町字旭ヶ丘5番1

連絡先：0768-58-1577

URL：<http://notowine.com/>

社会学習の一環で、地元の小中学生によるブドウ収穫体験



ブドウの収穫体験をするツアー参加者



能登ワイン 商品ラインナップ

### 概要

- 平成12年に農業法人を含む4件の農家に依頼し、遊休地で、新たにワイン専用ブドウ約20種類18haの栽培を開始。
- 平成16年に能登ワイン株式会社を設立し、18年に約5万本のワインの製造・販売を開始。

### 成果

- ワインの売上は1.3億円から1.9億円に増加（H26～H30）
- 日本で最も権威のある品評会「日本ワインコンクール」で金賞受賞の他11年連続で入賞。
- 地元の観光業者と連携し「能登周遊ツアー」の誘致により、年間来場者数は2.7万人から約5万人に増加。（H26～H30）



たけだ  
⑧竹田の里づくり協議会

～未来へつなぐしだれ桜の里～

環境保全・  
景観保全

高齢者の活躍

農林漁業・  
農村文化体験

所在地：坂井市丸岡町山竹田第119号3番地  
連絡先：0776-67-2543  
URL：<http://www4.fctv.ne.jp/~takeda-s/>



たけくらべ広場でのしだれ桜まつりとマスコットの「さくらちゃん」



住民総出によるしだれ桜の植樹活動



咲き誇るしだれ桜

概要

- 地域の魅力向上、賑わい創出による活性化を図ろうと、平成4年からしだれ桜を毎年植樹する取り組みを開始。
- 平成19年の協議会設立を機に、しだれ桜を地域資源の核とした地域づくりを本格的に開始。
- 平成28年に開業した体験型宿泊施設や29年に開業したレストランと連携した交流事業を展開中。

成果

- 桜の開花時期に合わせてライトアップしたところ、数千人だった交流人口が7万人前後に増加。
- 27年前にしだれ桜を植えたキャンプ場「たけくらべ広場」は全国有数のしだれ桜の名所。
- 4月中旬の土日に郷土料理や特産品の販売ブースを設置し、県内外から約100の出店者を募り、クラフトフェアを開催するなど交流人口の確保に貢献。

## ⑨福井エコヴィレッジ研究会

～農村集落の未利用地にエコヴィレッジ誕生！～

移住・定住

環境保全・  
景観保全

教育機関との  
連携

所在地：福井県坂井市坂井町上新庄31-4-1

連絡先：0776-67-1193

URL：<http://www.kamishinjo-ecovillage.com/index.html>



エコヴィレッジ内コモンスペースに設けられた緑地帯



住民による小道整備と苗木植栽



韓国の教育機関からの視察

### 概要

- 福井大学の学生グループとエコヴィレッジに関するワークショップを開催。
- 平成24年に、移住・定住促進と農村集落の活性化に寄与することをめざす福井エコヴィレッジ研究会を設立し、農村集落の未利用地に、環境・コミュニティ両面で持続可能なエコヴィレッジ構想を策定。

### 成果

- 約70世帯の集落の未利用地をエコヴィレッジとして再生し、移住・定住を促進した結果、4軒（18人）が移住。
- 共用空間(コモン)に居住者が中心となって伝統的な屋敷林タブノキをはじめとする多彩な苗木を植え、手入れ・維持管理と各種イベントの開催。
- 県の住教育事業「親子ワークショップ」に協力、こども環境学会で発表。子どもの住教育の場として注目され、海外からの視察を受け入れ。

のとちょう  
石川県 能登町

ただ きいちろう  
⑩ 多田 喜一郎 さん

～過疎地域に年間1万人以上呼ぶおやじ～

農泊

伝統の継承

農林漁業・  
農村文化体験

所在地：石川県鳳珠郡能登町宮地16-9

連絡先：0768-76-0021

URL：http://shunran.info/



石川県



修学旅行受入れ(本人:右下)



輪島塗りのお膳での食事提供



田植え体験

## 概要

- 黒瓦、白壁などの地域の景観や伝統を地域資源として、農家民宿・農林漁業体験事業を実施し、国内外の教育旅行や外国人を受入れ。
- 一日一客、輪島塗りのお膳での食事の提供、地域食材の使用、化学調味料の不使用、宿泊受付窓口の一本化、料金の統一化、大学との連携などに取組む。

## 成果

- 黒瓦、白壁などの住居景観が「石川県景観形成重点地区」第1号に認定（H24）され、伝統継承に寄与。
- 入込客数は30人から13,000人に増加（H9～H30）。うち、外国人旅行者は毎年500人以上。
- 能登様式の空き家の改修や高齢者向け食配サービスを開始するなど、更なる地域活性化の取組を展開中。

福井県 さかいし 坂井市

やまだ せいいち  
⑪ 山田 誠一 さん

～新風を吹き込み 活気ある農村づくり～

新規就農者  
の確保

雇用

その他  
(遊休農地の活用)

所在地：福井県坂井市三国町山岸67-1 JA浜四郷支店内  
三里浜砂丘地農業支援センター

連絡先：0776-43-0839

URL：http://shien39.jp/



大学生の農業短期体験研修受け入れ(本人:右端)



定期的な新規就農者への巡回



里親農家と研修生との意見交換会

## 概要

- 坂井市役所を定年退職後、三里浜砂丘地営農推進協議会の設立に携わり、設立と同時に事務局長に就任。
- 新規就農者の掘り起こしを行い、先輩農家を研修先とする里親制度の確立、遊休農地の活用、空き家の活用などの取組を実施。
- 農水省の若手研修生、福井県職員をはじめ関西学院大学生などの視察研修を受入れ。

## 成果

- 三里浜砂丘地での新規就農者が19名へ増加（H25～H30）。就農時の平均年齢は41.5歳。
- 新規導入作物のニンジン、2.0haから15.5haへ増加（H25～H30）。
- 農地流動化面積は、0.6haから26.3haへ増加（H26～H30）。